

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.4.1	2020.4.1	
採取時刻			10:25	9:20	
全水深(m)			2.00	1.45	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	20	25
2			Pseudanabaenaceae	5	
3			OSCILLATORIALES	40	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	180	675
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	+	
6	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	15	
7			Mallomonas spp.	10	+
8		珪藻	Asterionella formosa	60	+
9			Aulacoseira ambigua	70	500
10			Aulacoseira pusilla	20	+
11			Fragilaria crotonensis	+	
12			Fragilaria spp.	35	
13			Melosira varians	+	+
14			Nitzschia acicularis	30	100
15			Nitzschia fruticosa	220	200
16			Nitzschia spp.	20	50
17			Skeletonema potamos	450	14125
18			Surirella sp	+	
19			Ulnaria japonica	65	100
20	Thalassiosiraceae-5	375	1100		
21	Thalassiosiraceae-10	2300	34250		
22	Thalassiosiraceae-25	5			
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	60	100
25			Chlorogonium spp.	10	75
26			Chodatella wratislawiensis		25
27			Crucigenia tetrapedia	+	
28			Dictyosphaerium spp.	60	300
29			Golenkinia spp.		125
30			Micractinium sp.	20	
31			Monoraphidium spp.	40	50
32			Oocystis sp.		100
33			Pediastrum boryanum	32	
34			Scenedesmus spp.	90	500
35			Schroederia sp.	+	
36			CHLOROPHYCEAE	660	700
37	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
38			POLYHYMENOPHORA	5	25
39		-	CILIOPHORA	5	75
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	350	500
41			鞭毛藻	600	250
42			鞭毛虫	100	50

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.4.1	2020.4.1
総数		5952	54001
種類組成	藍藻	65	25
	クリプト藻	180	675
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	25	0
	珪藻	3650	50425
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	972	1975
	その他の植物性動物性	950	750
動物性	110	151	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。 ・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。 ・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.4.24	2020.4.24	
採取時刻			9:40	9:13	
全水深(m)			2.23	1.71	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(65)	(25)
2			Aphanothece spp.		(50)
3			Pseudanabaena spp.	(15)	(150)
4			CHROCOCCALES	(5)	
5			OSCILLATORIALES	(10)	(50)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	300
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	+
8	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+	
9			Synura sp.	+	
10		珪藻	Asterionella formosa	+	+
11			Aulacoseira ambigua	80	400
12			Aulacoseira pusilla	10	225
13			Aulacoseira granulata	+	
14			Fragilaria rumpens	40	250
15			Nitzschia acicularis	50	425
16			Nitzschia fruticosa	680	1350
17			Nitzschia spp.	85	150
18			Skeletonema potamos	10950	7500
19			Ulnaria japonica	280	2250
20			Thalassiosiraceae-5	5000	8000
21			Thalassiosiraceae-10	3100	15000
22		BACILLARIOPHYCEAE	5		
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5	
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	120	200
25			Chlorogonium spp.	10	50
26			Dictyosphaerium spp.	120	400
27			Micractinium spp.	10	450
28			Monoraphidium spp.	50	100
29			Pediastrum boryanum		+
30			Scenedesmus acuminatus	+	+
31			Scenedesmus spp.	20	300
32			Tetraedron sp.	+	
33			Tetrastrum spp.		200
34				CHLOROPHYCEAE	90
35	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
36			EUROTATOREA		1
37	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	15	+
38		-	CILIOPHORA	5	100
39	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		25
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	400
41			鞭毛藻	100	250
42			鞭毛虫	50	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.4.24	2020.4.24
総数		21130	39251
種類組成	藍藻	95	275
	クリプト藻	10	300
	渦鞭毛藻	0	0
	黄色藻	0	0
	珪藻	20280	35550
	ユーグレナ藻	5	0
	その他の植物性	420	2200
	動物性	250	650
検査条件		70	276
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。</p> <p>・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。</p> <p>・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.5.18	2020.5.18	
採取時刻			10:25	9:04	
全水深(m)			2.27	1.82	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)	
2			Merismopedia sp.	(+)	
3			Pseudanabaena spp.	(50)	
4			OSCILLATORIALES	(25)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1100	
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25	
7			珪藻	Acanthoceras zachariasii	+
8				Aulacoseira ambigua	+
9				Aulacoseira pusilla	+
10				Aulacoseira granulata	+
11				Bacillaria paxillifer	+
12				Melosira varians	+
13				Nitzschia acicularis	100
14				Nitzschia fruticosa	100
15				Nitzschia spp.	125
16				Skeletonema potamos	115500
17				Staurosirella berolinensis	+
18				Ulnaria japonica	100
19				Thalassiosiraceae-5	2500
20				Thalassiosiraceae-10	1950
21	Thalassiosiraceae-25	+			
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
23			Chlorogonium spp.	25	
24			Coelastrum sp.	+	
25			Crucigeniella crucifera	+	
26			Dictyosphaerium spp.	100	
27			Micractinium spp.	100	
28			Monoraphidium spp.	50	
29			Oocystis sp.	+	
30			Pediastrum duplex	+	
31			Pediastrum tetras	8	
32			Scenedesmus bicaudatus	+	
33			Scenedesmus spp.	150	
34			Tetraedron sp.	25	
35			CHLOROPHYCEAE	150	
36	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1	
37			Polyarthra sp.	+	
38			Synchaeta spp.	+	
39			Trichocercidae	+	
40	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	50	
41		-	CILIOPHORA	75	
42	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+	
43		真正太陽虫	HELIOZOA	25	
44	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	
45			鞭毛藻	25	
46			鞭毛虫	100	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 5. 18	2020. 5. 18
総数		122408	124701
種類組成	藍藻	75	200
	クリプト藻	1100	3000
	渦鞭毛藻	25	200
	黄色藻	0	0
	珪藻	120375	118925
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	583	1625
	その他の植物性動物性	225	225
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。 ・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。 ・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2020.5.25	2020.5.25		
採取時刻			9:40	9:03		
全水深(m)			2.26	1.74		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)		
2			Aphanothece sp.	(25)		
3			Merismopedia spp.	(50)		
4			Pseudanabaena spp.	(25)		
5			CHROOCOCCALES	(25)		
6			OSCILLATORIALES	(75)		
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	375	7500	
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		100	
9	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	+	
10			Synura sp.		50	
11			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		1
12			珪藻	Acanthoceras zachariasi		25
13				Asterionella formosa	+	
14				Aulacoseira ambigua		+
15				Aulacoseira pusilla	25	375
16				Aulacoseira granulata	150	
17				Fragilaria sp.	+	
18				Nitzschia acicularis	50	200
19				Nitzschia fruticosa	+	+
20				Nitzschia spp.	100	75
21				Skeletonema potamos	34250	37750
22				Ulnaria japonica	50	100
23				Urosolenia sp.	+	
24				Thalassiosiraceae-5	2875	1000
25				Thalassiosiraceae-10	900	525
26				Thalassiosiraceae-25		+
27				BACILLARIOPHYCEAE		25
28				緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.
29	Chlorogonium spp.					150
30	Chodatella wratislawiensis					+
31	Coelastrum spp.	400				
32	Crucigenia fenestrata		200			
33	Crucigeniella sp.		400			
34	Dichotomococcus sp.		100			
35	Dictyosphaerium spp.	+	+			
36	Golenkinia sp.		25			
37	Gonium spp.	+	+			
38	Micractinium spp.	+	+			
39	Monoraphidium spp.	100	250			
40	Oocystis spp.	+	+			
41	Pandorina morum	+				
42	Pediastrum simplex		32			
43	Pediastrum tetras	+				
44	Scenedesmus acuminatus	+	+			
45	Scenedesmus bicaudatus		+			
46	Scenedesmus spp.	450	500			
47	Treubaria sp.		25			
48	CHLOROPHYCEAE	100	300			
49	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+	
50	繊毛虫	キネトフラクミノフォーラ	Coleps sp.	+		
51			貧膜口	SESSILIDA		+
52			多膜口	Tintinnidium sp.		+
53				POLYHYMENOPHORA	+	75
54			CILIOPHORA	+	50	
55	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+	
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	150	
57			鞭毛藻	50	200	
58			鞭毛虫	150	400	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 5. 25	2020. 5. 25
総数		40250	50908
種類組成	藍藻	75	225
	クリプト藻	375	7500
	渦鞭毛藻	0	100
	黄色藻	0	50
	珪藻	38400	40075
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1050	2082
	その他の植物性動物性	200	351
検査条件		150	525
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。 ・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。 ・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.6.2	2020.6.2	
採取時刻			10:15	9:15	
全水深(m)			2.33	1.87	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(25)	(50)
2			Aphanothece sp.		(25)
3			Merismopedia spp.		(100)
4			Microcystis aeruginosa		+
5			Pseudanabaena spp.	(+)	(50)
6			CHROCOCCALES		(150)
7			OSCILLATORIALES	(25)	(100)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25500	11500
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	225	800
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	25	
11		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		4
12		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	
13			Aulacoseira ambigua	+	
14			Aulacoseira pusilla	300	275
15			Aulacoseira granulata	+	200
16			Nitzschia acicularis	50	75
17			Nitzschia fruticosa	+	
18			Nitzschia spp.	150	175
19			Skeletonema potamos	21625	4050
20			Staurosirella berolinensis		75
21			Ulnaria japonica	75	50
22			Thalassiosiraceae-5	1000	2500
23			Thalassiosiraceae-10	250	+
24			Thalassiosiraceae-25		+
25			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
27			Ankistrodesmus spp.	+	+
28			Chlorogonium spp.	100	350
29			Coelastrum spp.	+	+
30			Crucigeniella crucifera	+	
31			Dichotomococcus sp.		+
32			Dictyosphaerium spp.	+	+
33			Eudorina sp.	32	
34			Gonium sp.	16	
35			Lobomonas sp.	+	
36			Micractinium spp.	+	+
37			Monoraphidium spp.		100
38			Oocystis sp.	+	
39			Pandorina morum	+	+
40			Pediastrum duplex	+	8
41			Pediastrum tetras	+	+
42			Scenedesmus acuminatus	+	100
43			Scenedesmus bicaudatus	+	+
44			Scenedesmus spp.	200	800
45			Tetraedron sp.		25
46		CHLOROPHYCEAE	2700	725	
47	輪形動物	輪虫	Trichocercidae	2	3
48			EUROTATOREA	+	
49		貧膜口	SESSILIDA	+	+
50		多膜口	Tintinnidium spp.	9	5
51			POLYHYMENOPHORA	100	50
52		-	CILIOPHORA	+	300
53	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
54	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	150
55			鞭毛藻	50	100
56			鞭毛虫	700	800

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 6. 2	2020. 6. 2
総数		53384	23695
種類組成	藍藻	50	475
	クリプト藻	25500	11500
	渦鞭毛藻	225	800
	黄色藻	25	0
	珪藻	23450	7400
	ユーグレナ藻	25	0
	緑藻	3048	2108
	その他の植物性動物性	250	254
検査条件		811	1158
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 <i>Anabaena</i> 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2020.6.16	2020.6.16			
採取時刻			9:57	11:01			
全水深(m)			2.21	1.70			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(100)	(250)		
2			Aphanothece spp.	(50)	(50)		
3			Merismopedia spp.	(175)	(450)		
4			Microcystis aeruginosa	300	200		
5			Pseudanabaena spp.	(+)	(150)		
6			CHROOCOCCALES	(100)	(350)		
7			OSCILLATORIALES	(75)	(100)		
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1550	20000		
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.		+		
10			Peridinium spp.	75	600		
11	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE		2		
12			珪藻	Acanthoceras zachariasii	25	+	
13				Aulacoseira ambigua		+	
14				Aulacoseira pusilla	875	1200	
15				Fragilaria spp.	+	+	
16				Nitzschia acicularis	25	750	
17				Nitzschia fruticosa	+	+	
18				Nitzschia spp.	300	250	
19				Skeletonema potamos	11900	7500	
20				Ulnaria japonica	+	50	
21				Ulnaria sp.	+		
22				Thalassiosiraceae-5	1500	2375	
23				Thalassiosiraceae-10	5750	3375	
24				Thalassiosiraceae-25	+	+	
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻		Euglena sp.		+	
26			Phacus sp.	25			
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	1800	+		
28			Ankistrodesmus spp.	75	+		
29			Chlorogonium spp.	100	1150		
30			Coelastrum spp.	+	+		
31			Crucigeniella crucifera	+	+		
32			Crucigeniella sp.	+			
33			Dichotomococcus spp.	75	150		
34			Dictyosphaerium spp.	100	+		
35			Elakatothrix sp.		+		
36			Golenkinia sp.	25			
37			Gonium sp.		+		
38			Micractinium spp.	350	+		
39			Monoraphidium spp.	100	100		
40			Oocystis spp.	100	+		
41			Pediastrum boryanum	+			
42			Pediastrum duplex	+	64		
43			Pediastrum tetras	+	+		
44			Polyedriopsis spinulosa	+			
45			Scenedesmus acuminatus	+	+		
46			Scenedesmus bicaudatus	100	500		
47			Scenedesmus denticulatus	100	+		
48			Scenedesmus spp.	450	1400		
49			Schroederia spp.	50			
50			Tetraedron spp.	25	50		
51			Tetrastrum spp.	100	200		
52			CHLOROPHYCEAE	2100	1550		
53			輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
54					Polyarthra spp.	+	1
55					Schizocerca diversicornis		1
56					Synchaeta sp.		+
57					Trichocercidae	+	4
58					EUROTATOREA	1	2
59			繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
60					Tintinnidium spp.	1	+
61	多膜口	POLYHYMENOPHORA		50	150		
62		CILIOPHORA		50	+		
63	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+		
64	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	400	1250		
65			鞭毛藻	350	950		
66			鞭毛虫	150	350		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 6. 16	2020. 6. 16
総数		29477	45524
種類組成	藍藻	800	1550
	クリプト藻	1550	20000
	渦鞭毛藻	75	600
	黄色藻	0	0
	珪藻	20375	15500
	ユーグレナ藻	25	0
	その他の植物性	5650	5164
	動物性	750	2202
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.7.14	2020.7.14	
採取時刻			9:45	9:20	
全水深(m)			2.10	1.55	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(250)
2			Aphanothece spp.	(25)	(50)
3			Merismopedia spp.	(50)	(225)
4			Microcystis aeruginosa		+
5			Microcystis wesenbergii		+
6			Pseudanabaena spp.		(50)
7			CHROCOCCALES	(50)	(25)
8			OSCILLATORIALES	(25)	(75)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	4000	2250
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	+
11			Peridinium spp.	125	275
12	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	1
13			Acanthoceras zachariasii	50	25
14			Aulacoseira ambigua		+
15			Aulacoseira pusilla	650	2025
16			Aulacoseira granulata	+	100
17			Melosira varians	+	
18			Nitzschia acicularis	100	1000
19			Nitzschia fruticosa	+	200
20			Nitzschia spp.	75	275
21			Skeletonema potamos	37500	25500
22			Ulnaria japonica	+	+
23			Ulnaria sp.	+	
24			Thalassiosiraceae-5	2500	2750
25			Thalassiosiraceae-10	2125	6750
26	Thalassiosiraceae-25	+	+		
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.		25
28	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
29			Chlorogonium spp.	125	75
30			Chodatella wratislawiensis		25
31			Chodatella spp.	+	+
32			Coelastrum spp.	+	+
33			Crucigeniella crucifera	300	
34			Dichotomococcus spp.		175
35			Dictyosphaerium spp.	+	300
36			Golenkinia sp.		25
37			Micractinium spp.	200	400
38			Monoraphidium spp.	25	50
39			Oocystis sp.		+
40			Pediastrum duplex	16	24
41			Pediastrum simplex	48	64
42			Pediastrum tetras	+	8
43			Polyedriopsis spinulosa	+	
44			Scenedesmus acuminatus	+	300
45			Scenedesmus bicaudatus	+	300
46			Scenedesmus spp.	150	400
47			Schroederia sp.		+
48			Tetraedron spp.	25	50
49	CHLOROPHYCEAE	350	650		
50	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.		+
51			Polyarthra spp.	+	5
52			Schizocerca diversicornis		+
53			Synchaeta sp.	+	
54			Trichocercidae	+	+
55	EUROTATOREA		+		
56	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	14
57			POLYHYMENOPHORA	25	125
58		-	CILIOPHORA	+	50
59	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	600
61			鞭毛藻	200	150
62			鞭毛虫	300	150

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.7.14	2020.7.14
総数		49241	45791
種類組成	藍藻	150	675
	クリプト藻	4000	2250
	渦鞭毛藻	125	275
	黄色藻	0	0
	珪藻	43000	38625
	ユーグレナ藻	0	25
	その他の植物性	401	751
	動物性	326	344
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。 ・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。 ・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.7.20	2020.7.20
採取時刻			10:11	9:08
全水深(m)			2.25	2.00
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)
2			Aphanothece spp.	(15)
3			Coelosphaerium sp.	(+)
4			Merismopedia spp.	(5)
5			Microcystis aeruginosa	+
6			Pseudanabaena spp.	(25)
7			Nostocaceae	(+)
8			CHROOCOCCEALES	(10)
9			OSCILLATORIALES	(200)
10				CYANOPHYCEAE (コロニー)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	400
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	10
13			Peridinium spp.	5
14	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+
15			Mallomonas spp.	10
16		ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	
17		珪藻	Acanthoceras zachariasi	+
18			Aulacoseira ambigua	+
19			Aulacoseira pusilla	25
20			Aulacoseira granulata	+
21			Melosira varians	5
22			Nitzschia acicularis	25
23			Nitzschia fruticosa	+
24			Nitzschia spp.	25
25			Skeletonema potamos	17500
26			Stausosirella berolinensis	20
27			Ulnaria sp.	+
28			Thalassiosiraceae-5	1050
29			Thalassiosiraceae-10	900
30			Thalassiosiraceae-25	+
31	緑色植物		緑藻	Actinastrum spp.
32		Chlorogonium spp.		75
33		Chodatella quadriseta		+
34		Closterium sp.		+
35		Coelastrum sp.		200
36		Crucigeniella crucifera		+
37		Dictyosphaerium spp.		20
38		Elakatothrix sp.		+
39		Eudorina sp.		8
40		Micractinium spp.		190
41		Monoraphidium spp.		+
42		Oocystis sp.		+
43		Pediastrum duplex		+
44		Pediastrum simplex		+
45		Scenedesmus acuminatus		+
46		Scenedesmus bicaudatus		100
47		Scenedesmus denticulatus		+
48		Scenedesmus spp.		50
49		Treubaria sp.		+
50				CHLOROPHYCEAE
51	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1
52			Polyarthra sp.	+
53			Trichocercidae	1
54			EUROTATOREA	1
55	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+
56			POLYHYMENOPHORA	5
57			CILIOPHORA	10
58	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
59	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100
60			鞭毛藻	200
61			鞭毛虫	50

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.7.20	2020.7.20
総数		21079	36720
種類組成	藍藻	55	575
	クリプト藻	400	4250
	渦鞭毛藻	15	350
	黄色藻	10	0
	珪藻	19550	28450
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	683	1741
	その他の植物性動物性	300	751
検査条件		66	603
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.8.24	2020.8.24	
採取時刻			9:40	9:10	
全水深(m)			1.98	1.57	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(150)	(400)
2			Aphanothece spp.	(150)	(300)
3			Merismopedia spp.	(200)	(350)
4			Microcystis aeruginosa		+
5			Pseudanabaena spp.	(25)	(200)
6			Pseudanabaenaceae		(25)
7			CHROOCOCCALES		(25)
8			OSCILLATORIALES		(200)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	850	1200
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25	50
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
12		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	25
13			Aulacoseira ambigua	+	
14			Aulacoseira pusilla	+	100
15			Aulacoseira granulata	+	100
16			Melosira varians	+	
17			Navicula sp.		+
18			Nitzschia acicularis	75	1000
19			Nitzschia fruticosa	+	+
20			Nitzschia spp.	275	1050
21			Skeletonema potamos	425	1275
22			Surirella sp		+
23			Ulnaria japonica	25	
24			Ulnaria sp.	25	
25			Thalassiosiraceae-5	2000	3250
26			Thalassiosiraceae-10	4875	12750
27			Thalassiosiraceae-25	+	
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Phacus sp.	25	
29			Trachelomonas sp.	25	
30	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
31			Chlorogonium spp.	100	350
32			Closterium sp.		25
33			Coelastrum sp.		+
34			Crucigenia lauterbornii	100	
35			Crucigeniella crucifera		200
36			Dichotomococcus spp.		325
37			Dictyosphaerium spp.	100	100
38			Elakatothrix sp.	75	
39			Golenkinia sp.	+	
40			Gonium sp.	8	
41			Micractinium spp.	200	50
42			Monoraphidium spp.	50	100
43			Oocystis spp.	+	+
44			Pediastrum duplex	16	24
45			Pediastrum simplex	48	32
46			Pediastrum tetras	+	
47			Scenedesmus acuminatus	100	100
48			Scenedesmus bicaudatus	100	100
49			Scenedesmus denticulatus	+	+
50			Scenedesmus spp.	350	750
51			Schroederia spp.		50
52			Treubaria spp.	25	25
53				CHLOROPHYCEAE	375
54	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	2
55			Trichocercidae	+	2
56			EUROTATOREA		3
57	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2	
58			POLYHYMENOPHORA	25	100
59			CILIOPHORA	25	100
60	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	25	
61	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	450	300
62			鞭毛藻	200	200
63			鞭毛虫	500	100

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 8. 24	2020. 8. 24
総数		12249	26138
種類組成	藍藻	750	1800
	クリプト藻	850	1200
	渦鞭毛藻	25	50
	黄色藻	0	0
	珪藻	7700	19550
	ユーグレナ藻	50	0
	その他の植物性動物性	650	500
		577	307
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。 ・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。 ・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。 ・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2020.8.28	2020.8.28		
採取時刻			11:12	10:11		
全水深(m)			1.85	1.35		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(100) (750)		
2			Aphanothece spp.	(+) (100)		
3			Merismopedia spp.	(350) (950)		
4			Microcystis aeruginosa	+	+	
5			Pseudanabaena spp.	(50) (125)		
6			Sphaerospermopsis sp.	(+)		
7			CHROOCOCALE	(25) (50)		
8			OSCILLATORIALES	(200) (1050)		
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	300 4000		
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+ 75		
11	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasii	+		
12			Aulacoseira pusilla	75 50		
13			Aulacoseira granulata	+		
14			Cymatopleura solea	+		
15			Nitzschia acicularis	75 1200		
16			Nitzschia fruticosa	+	100	
17			Nitzschia spp.	425 2100		
18			Skeletonema potamos	1225 1550		
19			Surirella sp	1		
20			Thalassiosiraceae-5	9000 22750		
21			Thalassiosiraceae-10	13500 19500		
22			Thalassiosiraceae-25	+	+	
23			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
24					Phacus sp.	+
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	200 200		
26			Ankistrodesmus spp.	+		
27			Chlorogonium spp.	25 500		
28			Chodatella sp.	+		
29			Closterium sp.	+		
30			Coelastrum spp.	+	200	
31			Cosmarium sp.	+		
32			Crucigeniella crucifera	+	500	
33			Crucigeniella sp.	+	400	
34			Dichotomococcus spp.	+	325	
35			Dictyosphaerium spp.	100 200		
36			Gonium sp.	+		
37			Micractinium sp.	+		
38			Monoraphidium spp.	125 125		
39			Oocystis spp.	75 50		
40			Pediastrum duplex	32 32		
41			Pediastrum simplex	32 24		
42			Pediastrum tetras	8	+	
43			Scenedesmus acuminatus	+		
44			Scenedesmus bicaudatus	300 550		
45			Scenedesmus denticulatus	+		
46			Scenedesmus spp.	450 650		
47			Schroederia spp.	+	125	
48			Tetrastrum heterocanthum	100		
49			Treubaria spp.	+	25	
50				CHLOROPHYCEAE	225 550	
51	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	+		
52			Polyarthra spp.	1 1		
53			Trichocercidae	+	3	
54			EUROTATOREA	+	7	
55	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+		
56		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+		
57		-	CILIOPHORA	+	175	
58	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	25	
59	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	200 1150		
60			鞭毛藻	50 700		
61			鞭毛虫	200 650		

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020. 8. 28	2020. 8. 28
総数		27449	61642
種類組成	藍藻	725	3025
	クリプト藻	300	4000
	渦鞭毛藻	0	75
	黄金色藻	0	0
	珪藻	24301	47250
	ユーグレナ藻	0	125
	緑藻	1672	4456
	その他の植物性動物性	250	1850
検査条件		201	861
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.9.17	2020.9.17
採取時刻			10:51	9:35
全水深(m)			1.81	1.28
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(75)
2			Aphanothece spp.	(50)
3			Merismopedia spp.	(100)
4			Microcystis aeruginosa	+
5			Microcystis wesenbergii	+
6			Pseudanabaena spp.	(50)
7			Radiocystis spp.	(50)
8			Pseudanabaenaceae	(25)
9			CHROCOCCALES	(25)
10			OSCILLATORIALES	(750)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	575
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	100
13	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	125
14			Aulacoseira granulata	+
15			Navicula sp.	+
16			Nitzschia acicularis	125
17			Nitzschia fruticosa	
18			Nitzschia spp.	275
19			Skeletonema potamos	2400
20			Staurosirella berolinensis	
21			Surirella sp	+
22			Ulnaria sp.	
23			Thalassiosiraceae-5	34250
24			Thalassiosiraceae-10	15250
25			Thalassiosiraceae-25	+
26			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
28			Chlorogonium spp.	175
29			Chodatella wratislawiensis	+
30			Coelastrum spp.	+
31			Crucigeniella crucifera	+
32			Dichotomococcus sp.	
33			Dictyosphaerium spp.	100
34			Monoraphidium spp.	75
35			Oocystis spp.	+
36			Pediastrum duplex	8
37			Pediastrum simplex	52
38			Pediastrum tetras	+
39			Polyedriopsis spinulosa	25
40			Scenedesmus acuminatus	+
41			Scenedesmus bicaudatus	+
42			Scenedesmus denticulatus	+
43			Scenedesmus spp.	100
44			Staurastrum sp.	
45			Tetraedron spp.	+
46			Treubaria sp.	+
47		CHLOROPHYCEAE	325	
48	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+
49			Polyarthra sp.	1
50			Schizocerca diversicornis	
51			Trichocercidae	4
52			EUROTATOREA	+
53	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1
54			Tintinnidium spp.	6
55		多膜口	POLYHYMENOPHORA	25
56			CILIOPHORA	100
57	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
58	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	300
59			鞭毛藻	50
60			鞭毛虫	350

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.9.17	2020.9.17
総数		55722	78418
種類組成	藍藻	925	2600
	クリプト藻	575	1200
	渦鞭毛藻	100	175
	黄色藻	0	0
	珪藻	52425	70525
	ユーグレナ藻	0	50
	緑藻	860	2233
	その他の植物性動物性	350	1150
検査条件		487	485
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2020.9.28	2020.9.28		
採取時刻			10:27	10:04		
全水深(m)			1.81	1.43		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(+)	(25)	
2			Merismopedia spp.	(50)	(100)	
3			Microcystis aeruginosa			+
4			Pseudanabaena mucicola	(+)		
5			Pseudanabaena sp.	(+)		
6			OSCILLATORIALES	(75)		(125)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	5000	525	
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	100	25	
9	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+		
10			珪藻	Acanthoceras zachariasii		+
11				Aulacoseira ambigua	100	
12				Aulacoseira pusilla	75	350
13				Aulacoseira granulata	+	100
14				Nitzschia acicularis	+	325
15				Nitzschia fruticosa	100	100
16				Nitzschia spp.	125	300
17				Skeletonema potamos	3725	5200
18				Ulnaria japonica	+	25
19				Ulnaria sp.		+
20				Thalassiosiraceae-5	6250	28000
21				Thalassiosiraceae-10	6500	18000
22				Thalassiosiraceae-25		+
23	BACILLARIOPHYCEAE			+		
24	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+	
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	200	200	
26			Chlorogonium spp.	500	450	
27			Closterium sp.	+		
28			Coelastrum sp.	+		
29			Crucigenia lauterbornii		+	
30			Dichotomococcus sp.		+	
31			Dictyosphaerium spp.	200	500	
32			Golenkinia spp.	+	+	
33			Gonium spp.	+	16	
34			Micractinium spp.	+	+	
35			Monoraphidium spp.	+	50	
36			Oocystis sp.		+	
37			Pediastrum duplex	16	16	
38			Pediastrum simplex	8	8	
39			Pediastrum tetras	8	8	
40			Scenedesmus acuminatus	+		
41			Scenedesmus bicaudatus	+	100	
42			Scenedesmus spp.	300	100	
43			Schroederia sp.	25		
44			Tetraedron spp.	+	25	
45			Tetrastrum elegans	+		
46			CHLOROPHYCEAE	75	500	
47	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1	
48			Polyarthra spp.	+	6	
49			Schizocerca diversicornis		+	
50			Trichocercidae		2	
51	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		2	
52			POLYHYMENOPHORA	50	25	
53			CILIOPHORA	+	50	
54	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	25	
55	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200	700	
56			鞭毛藻	250	500	
57			鞭毛虫	100	950	

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.9.28	2020.9.28
総数		24032	57434
種類組成	藍藻	125	250
	クリプト藻	5000	525
	渦鞭毛藻	100	25
	黄色藻	0	0
	珪藻	16875	52400
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	1332	1973
	その他の植物性動物性	450	1200
150	1061		
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.10.6	2020.10.6
採取時刻			11:04	9:48
全水深(m)			1.95	1.31
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(100)
2			Merismopedia spp.	(25)
3			Microcystis aeruginosa	+
4			Pseudanabaena sp.	(25)
5			CHROOCOCCALES	(50)
6			OSCILLATORIALES	(50)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	3625
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	50
9	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	+
10			Aulacoseira pusilla	50
11			Aulacoseira granulata	+
12			Gyrosigma sp.	+
13			Navicula sp.	+
14			Nitzschia acicularis	50
15			Nitzschia fruticosa	+
16			Nitzschia spp.	125
17			Skeletonema potamos	6550
18			Ulnaria japonica	25
19			Thalassiosiraceae-5	3000
20			Thalassiosiraceae-10	2750
21			Thalassiosiraceae-25	+
22			BACILLARIOPHYCEAE	+
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	200
25			Chlorogonium spp.	100
26			Chodatella wratislawiensis	25
27			Coelastrum sp.	+
28			Dictyosphaerium sp.	+
29			Monoraphidium spp.	75
30			Oocystis spp.	150
31			Pediastrum simplex	32
32			Scenedesmus acuminatus	100
33			Scenedesmus bicaudatus	100
34			Scenedesmus spp.	200
35			Schroederia spp.	50
36			Tetraedron sp.	25
37			CHLOROPHYCEAE	175
38	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+
39			Polyarthra spp.	+
40			Synchaeta sp.	+
41			Trichocercidae	2
42	織毛虫	多膜口	EUROTATOREA	2
43			Tintinnidium spp.	2
44			POLYHYMENOPHORA	50
45	—	—	CILIOPHORA	50
46	不明プランクトン	—	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	550
47			鞭毛藻	650
48			鞭毛虫	200

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.10.6	2020.10.6
総数		18488	43527
種類組成	藍藻	75	1075
	クリプト藻	3625	7000
	渦鞭毛藻	50	150
	黄色藻	0	0
	珪藻	12525	30275
	ユーグレナ藻	0	25
	その他の植物性	707	2466
	動物性	1200	1600
検査条件		306	936
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.10.26	2020.10.26
採取時刻			10:15	9:49
全水深 (m)			1.95	1.40
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)
2			Microcystis aeruginosa	+
3			OSCILLATORIALES	(25)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	775
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+
6	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1
7		珪藻	Aulacoseira pusilla	75
8			Aulacoseira granulata	
9			Navicula sp.	+
10			Nitzschia acicularis	25
11			Nitzschia fruticosa	+
12			Nitzschia spp.	300
13			Skeletonema potamos	8250
14			Surirella sp	+
15			Thalassiosiraceae-5	15000
16			Thalassiosiraceae-10	3250
17			Thalassiosiraceae-25	
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
19	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
20			Chlorogonium spp.	125
21			Dictyosphaerium spp.	100
22			Monoraphidium spp.	
23			Pediastrum simplex	+
24			Scenedesmus acuminatus	+
25			Scenedesmus bicaudatus	+
26			Scenedesmus spp.	
27			Schroederia sp.	25
28			Tetraedron sp.	+
29			CHLOROPHYCEAE	75
30	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+
31			Polyarthra sp.	+
32	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+
33			POLYHYMENOPHORA	+
34			CILIOPHORA	+
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	650
36			鞭毛藻	450
37			鞭毛虫	400
総数			29526	55350
種類組成				
			藍藻	25
			クリプト藻	775
			渦鞭毛藻	0
			黄色藻	0
			珪藻	26900
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	325
			その他の植物性	1101
			動物性	400
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央			
採取年月日		2020.11.9	2020.11.9			
採取時刻		10:25	9:10			
全水深(m)		1.88	1.47			
採取水深(m)		0.50	0.50			
採水量(ml)		100	100			
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.		(75)	
2			CHROCOCCALES	(+)		
3			OSCILLATORIALES		(50)	
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	250	6750	
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25	50	
6	不等毛植物	珪藻	Amphora sp.	25		
7			Aulacoseira pusilla	25	325	
8			Aulacoseira granulata		100	
9			Bacillaria paxillifer	14		
10			Navicula spp.	+	+	
11			Nitzschia acicularis	25	225	
12			Nitzschia fruticosa	100	1500	
13			Nitzschia spp.	250	2250	
14			Skeletonema potamos	51000	14000	
15			Surirella sp		+	
16			Thalassiosiraceae-5	3250	6250	
17	Thalassiosiraceae-10	10000	10000			
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+	
19			Chlorogonium spp.	25	125	
20			Coelastrum sp.		+	
21			Dictyosphaerium spp.		500	
22			Monoraphidium spp.		50	
23			Pediastrum simplex		+	
24			Scenedesmus acuminatus		+	
25			Scenedesmus bicaudatus	100		
26			Scenedesmus spp.	100	300	
27	CHLOROPHYCEAE	+	200			
28	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		+	
29			Trichocercidae		+	
30			EUROTATORIA		1	
31	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+		
32			Tintinnidium spp.	5	10	
33			POLYHYMENOPHORA	25	+	
34			-	CILIOPHORA	+	+
35	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		25	
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	300	800	
37			鞭毛藻		150	400
38			鞭毛虫		100	900
総数				65769	44886	
種類組成		藍藻	0	125		
		クリプト藻	250	6750		
		渦鞭毛藻	25	50		
		黄色藻	0	0		
		珪藻	64689	34650		
		ユーグレナ藻	0	0		
		緑藻	225	1175		
		その他の植物性	450	1200		
		動物性	130	936		
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人			
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2020.11.24	2020.11.24	
採取時刻			14:21	13:59	
全水深(m)			1.90	1.45	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	
2			Aphanothece spp.	(125)	
3			Merismopedia spp.	(50)	
4			Pseudanabaena sp.	(25)	
5			OSCILLATORIALES	(+)	(125)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	125	1700
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		50
8	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
9			珪藻	Aulacoseira ambigua	+
10		Aulacoseira pusilla			175
11		Aulacoseira granulata		+	
12		Bacillaria paxillifer		14	
13		Cymatopleura solea		+	1
14		Navicula sp.			+
15		Nitzschia acicularis		50	350
16		Nitzschia fruticosa		100	1350
17		Nitzschia spp.		250	4750
18		Skeletonema potamos		23000	8875
19		Staurosirella berolinensis		+	
20		Surirella sp		+	
21		Ulnaria japonica		+	25
22		Thalassiosiraceae-5		4250	19250
23		Thalassiosiraceae-10		4000	23500
24		Thalassiosiraceae-25	+		
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+
26			Phacus sp.	+	
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
28			Chlorogonium spp.	+	50
29			Coelastrum sp.	+	
30			Dichotomococcus sp.		+
31			Dictyosphaerium spp.	+	100
32			Monoraphidium spp.	25	375
33			Pediastrum duplex	+	
34			Pediastrum simplex	+	
35			Scenedesmus acuminatus	+	
36			Scenedesmus spp.	+	200
37			Schroederia sp.	+	
38			Staurastrum sp.	+	
39			Tetraedron sp.	+	
40					CHLOROPHYCEAE
41	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	+	
42			Synchaeta sp.		+
43	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps sp.	+	
44			SESSILIDA		1
45		多膜口	Tintinnidium spp.		2
46			POLYHYMENOPHORA	+	
47		-	CILIOPHORA	25	250
48	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		25
49	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	2000	3250
50			鞭毛藻	1750	2000
51			鞭毛虫	250	1750

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2020.11.24	2020.11.24
総数		35889	68379
種類組成	藍藻	25	350
	クリプト藻	125	1700
	渦鞭毛藻	0	50
	黄色藻	0	0
	珪藻	31664	58276
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	50	725
	その他の植物性動物性	3750	5250
	275	2028	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<p>・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。</p> <p>・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。</p> <p>・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。</p> <p>・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は <i>Cuspidothrix</i> 属に移されたため、本結果もこれに従った。</p> <p>・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から <i>Dolichospermum</i> 属と <i>Sphaerospermopsis</i> 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは <i>Nostocaceae</i> 科として計数した。</p> <p>・藍藻綱 <i>Microcystis</i> 属の種は、群体の形質から <i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> 以外の種類は、最も一般的に出現している <i>M. aeruginosa</i> として同定し、<i>M. aeruginosa</i>、<i>M. viridis</i>、<i>M. wesenbergii</i> の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて <i>M. aeruginosa</i> とした。</p> <p>・藍藻綱 <i>Oscillatoria</i> 属、<i>Phormidium</i> 属、<i>Lyngbya</i> 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から <i>Pseudanabaena</i> 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は <i>OSCILLATORIALES</i> 目等の上位の分類群までの同定に留めた。</p> <p>・珪藻綱 <i>Acanthoceras zachariasii</i> は、従来シノニムである <i>Atteya zachariasii</i> とされていたが、本結果では <i>Acanthoceras zachariasii</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Aulacoseira</i> 属の種は、従来 <i>Melosira</i> 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから <i>Aulacoseira</i> 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。</p> <p>・珪藻綱 <i>Asterionella formosa</i>、<i>Aulacoseira pusilla</i>、<i>Nitzschia acicularis</i> は、それぞれ類似種を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Bacillaria paxillifer</i> は従来シノニムである <i>Bacillaria paradoxa</i> とされていたが、本結果では <i>Bacillaria paxillifer</i> を採用した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Navicula</i> 属は、類似の属を含めて計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Thalassiosira</i> 科の種（<i>Cyclotella</i> 属、<i>Stephanodiscus</i> 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。</p> <p>・珪藻綱 <i>Rhizosolenia</i> 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は <i>Urosolenia</i> 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。</p> <p>・緑藻綱 <i>Chodatella</i> 属、<i>Lagerheimia</i> 属、<i>Franceia</i> 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに <i>Chodatella</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Crucigenia</i> 属と <i>Crucigeniella</i> 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは <i>Crucigenia</i> 属に一括して計数した。</p> <p>・緑藻綱 <i>Golenkinia</i> 属と <i>Golenkiniopsis</i> 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、<i>Golenkinia</i> 属に一括して計数した。</p>			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.12.3	2020.12.3
採取時刻			10:46	9:58
全水深 (m)			1.79	1.27
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece sp.	(+)
2			OSCILLATORIALES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	100
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
5			Peridinium spp.	75
6	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	+
7			Aulacoseira pusilla	+
8			Nitzschia acicularis	10
9			Nitzschia fruticosa	+
10			Nitzschia spp.	20
11			Skeletonema potamos	1975
12			Ulnaria japonica	+
13			Thalassiosiraceae-5	425
14			Thalassiosiraceae-10	900
15			Thalassiosiraceae-25	+
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
17			Trachelomonas sp.	+
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+
19			Chlorogonium spp.	75
20			Closterium spp.	+
21			Dictyosphaerium spp.	+
22			Monoraphidium spp.	200
23			Pandorina morum	+
24			Scenedesmus acuminatus	+
25			Scenedesmus bicaudatus	+
26			Scenedesmus spp.	70
27			Tetraedron sp.	25
28			CHLOROPHYCEAE	30
29	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA	1
30	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1
31		多膜口	Tintinnidium sp.	+
32			POLYHYMENOPHORA	+
33			CILIOPHORA	50
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	150
35			鞭毛藻	100
36			鞭毛虫	100
総数			3885	22752
種類組成			藍藻	5
			クリプト藻	100
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	3330
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	100
			その他の植物性	250
			動物性	100
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2020.12.17	2020.12.17
採取時刻			9:58	11:10
全水深(m)			1.90	1.40
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROCOCCALES	(+)
2			OSCILLATORIALES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	170
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	50
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
6		珪藻	Aulacoseira ambigua	+
7			Aulacoseira pusilla	+
8			Nitzschia acicularis	35
9			Nitzschia fruticosa	30
10			Nitzschia spp.	20
11			Skeletonema potamos	20500
12			Ulnaria japonica	25
13			Thalassiosiraceae-5	1000
14			Thalassiosiraceae-10	2650
15	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
16	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	50
17			Chodatella quadriseta	5
18			Chodatella wratislawiensis	5
19			Dictyosphaerium spp.	60
20			Monoraphidium spp.	20
21			Scenedesmus spp.	20
22			Schroederia sp.	25
23			Tetraedron sp.	5
24			CHLOROPHYCEAE	60
25	織毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	15
26		-	CILIOPHORA	5
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+
28			鞭毛藻	100
29			鞭毛虫	100
総数			24830	37800
種類組成				
藍藻			5	50
クリプト藻			170	925
渦鞭毛藻			0	50
黄金色藻			0	0
珪藻			24260	35050
ユーグレナ藻			0	0
緑藻			175	1050
その他の植物性			100	300
動物性			120	375
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2021.1.6	2021.1.6		
採取時刻			10:01	9:14		
全水深(m)			1.47	1.40		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(15)	(75)	
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	40	275	
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		25	
4	不等毛植物	黄金色藻	Synura sp.	14		
5		珪藻	Asterionella formosa	+	+	
6			Aulacoseira ambigua	+		
7			Aulacoseira pusilla	+	50	
8			Melosira varians		+	
9			Nitzschia acicularis	35	125	
10			Nitzschia fruticosa	+	+	
11			Nitzschia spp.	5	150	
12			Skeletonema potamos	535	1050	
13			Ulnaria japonica	95	1050	
14			Ulnaria sp.		+	
15			Thalassiosiraceae-5	650	3250	
16			Thalassiosiraceae-10	6050	52250	
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+		
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	15		
19			Chlorogonium spp.	+	+	
20			Monoraphidium spp.	15	+	
21			Pediastrum boryanum		16	
22			Scenedesmus spp.	20	100	
23			CHLOROPHYCEAE	25	175	
24	絨毛虫		多膜口	Tintinnidium sp.		1
25			—	POLYHYMENOPHORA	+	+
26		—	CILIOPHORA	+	50	
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	150	
28			鞭毛藻	100	100	
29			鞭毛虫	+	100	
総			数	7764	58992	
種類組成			藍藻	15	75	
			クリプト藻	40	275	
			渦鞭毛藻	0	25	
			黄金色藻	14	0	
			珪藻	7370	57925	
			ユーグレナ藻	0	0	
			緑藻	75	291	
			その他の植物性	250	250	
			動物性	0	151	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2021.1.21	2021.1.21		
採取時刻			14:42	14:10		
全水深(m)			1.80	1.39		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)		
2			CHROOCOCCALES	(+)		
3			OSCILLATORIALES	(80)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15		
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5		
6	不等毛植物	珪藻	Dinobryon spp.	65		
7			Mallomonas sp.	+		
8			Asterionella formosa	20		
9			Aulacoseira pusilla	+		
10			Navicula sp.	+		
11			Nitzschia acicularis	75		
12			Nitzschia fruticosa	+		
13			Nitzschia spp.	10		
14			Skeletonema potamos	10		
15			Ulnaria japonica	220		
16			Thalassiosiraceae-5	110		
17			Thalassiosiraceae-10	4050		
18			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5
19			緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.	+
20					Chlorogonium sp.	5
21					Chodatella quadriseta	5
22					Chodatella wratislawiensis	5
23	Dictyosphaerium spp.	120				
24	Monoraphidium spp.	15				
25	Scenedesmus spp.	10				
26	Tetrastrum elegans	40				
27	CHLOROPHYCEAE	45				
28	絨毛虫	多膜口			Tintinnidium spp.	3
29			POLYHYMENOPHORA	+		
30			CILIOPHORA	5		
31	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+		
32	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	300		
33			鞭毛藻	100		
34			鞭毛虫	100		
総数			5420	52503		
種類組成			藍藻	85		
			クリプト藻	15		
			渦鞭毛藻	5		
			黄金色藻	65		
			珪藻	4495		
			ユーグレナ藻	5		
			緑藻	245		
			その他の植物性	400		
			動物性	105		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定(1%) 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット(5μmメッシュ)により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス(1.0ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	(一財)千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に()を付した。 定量検鏡(計数時)において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種(浮遊性種)は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種(Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等)は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径(3サイズ：5μm、10μm、25μm)で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央			
採取年月日			2021.2.8	2021.2.8			
採取時刻			10:07	9:05			
全水深(m)			1.88	1.40			
採取水深(m)			0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES	(+)			
2			OSCILLATORIALES	(15)			
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	20			
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	50			
5			珪藻	Asterionella formosa	20		
6				Aulacoseira ambigua	+		
7				Aulacoseira pusilla	50		
8				Fragilaria crotonensis	+		
9				Melosira varians	+		
10				Nitzschia acicularis	145		
11				Nitzschia fruticosa	+		
12				Nitzschia spp.	5		
13				Skeletonema potamos	125		
14				Surirella sp	+		
15				Ulnaria japonica	160		
16				Ulnaria sp.	+		
17				Thalassiosiraceae-5	250		
18				Thalassiosiraceae-10	6500		
19				ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+
20						Trachelomonas sp.	+
21				緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+
22	Chodatella quadriseta	+					
23	Dictyosphaerium spp.	60					
24	Monoraphidium sp.	5					
25	Scenedesmus spp.	+					
26	Schroederia sp.	5					
27	Tetraedron sp.	5					
28	CHLOROPHYCEAE	35					
29	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+			
30	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	3			
31			POLYHYMENOPHORA	25			
32			—	CILIOPHORA	5		
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	200			
34			鞭毛藻	25			
35			鞭毛虫	50			
総数			7680	47228			
種類組成			藍藻	15			
			クリプト藻	20			
			渦鞭毛藻	0			
			黄金色藻	50			
			珪藻	7205			
			ユーグレナ藻	0			
			緑藻	110			
			その他の植物性動物性	225			
				175			
				128			
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 							

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2021.2.18	2021.2.18		
採取時刻			13:50	13:23		
全水深(m)			1.85	1.40		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)		
2			Aphanothece sp.	(5)		
3			OSCILLATORIALES	(5)		
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	20 +		
5	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	+ 25		
6			Asterionella formosa	30 +		
7			Aulacoseira ambigua	+		
8			Aulacoseira pusilla	20		
9			Diatoma sp.	+		
10			Melosira varians	+ +		
11			Navicula sp.	+		
12			Nitzschia acicularis	125 250		
13			Nitzschia fruticosa	+ +		
14			Nitzschia spp.	40 50		
15			Skeletonema potamos	150 1025		
16			Ulnaria japonica	125 425		
17			Ulnaria spp.	+ +		
18			Thalassiosiraceae-5	300 500		
19			Thalassiosiraceae-10	4600 25250		
20			Thalassiosiraceae-25	+		
21				BACILLARIOPHYCEAE	+	
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+ +		
23			Trachelomonas sp.	+ +		
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+ +		
25			Dictyosphaerium spp.	20 200		
26			Monoraphidium spp.	10 50		
27			Oocystis sp.	50		
28			Scenedesmus acuminatus	+		
29			Scenedesmus spp.	20 +		
30			CHLOROPHYCEAE	115 125		
31			繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.	+ +
32					POLYHYMENOPHORA	+ +
33					CILIOPHORA	+ +
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100 150		
35			鞭毛藻	50 100		
36			鞭毛虫	50 50		
総数			5785	28250		
種類組成			藍藻	10 0		
			クリプト藻	20 0		
			渦鞭毛藻	0 0		
			黄金色藻	0 25		
			珪藻	5390 27500		
			ユーグレナ藻	0 0		
			緑藻	165 425		
			その他の植物性	150 250		
			動物性	50 50		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 						

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.3.3	2021.3.3
採取時刻			14:12	13:02
全水深 (m)			1.82	1.40
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	OSCILLATORIALES	(15)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	30
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	10
5			Mallomonas spp.	15
6		珪藻	Asterionella formosa	20
7			Aulacoseira ambigua	100
8			Aulacoseira pusilla	+
9			Fragilaria spp.	20
10			Melosira varians	+
11			Navicula sp.	5
12			Nitzschia acicularis	90
13			Nitzschia spp.	100
14			Skeletonema potamos	115
15			Staurosirella berolinensis	+
16			Surirella sp	+
17			Ulnaria japonica	850
18			Thalassiosiraceae-5	175
19			Thalassiosiraceae-10	6000
20			Thalassiosiraceae-25	+
21			BACILLARIOPHYCEAE	+
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5
23			Phacus sp.	+
24			Trachelomonas sp.	+
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	20
26			Chlorogonium spp.	+
27			Dictyosphaerium spp.	40
28			Monoraphidium spp.	20
29			Pandorina morum	+
30			Pediastrum simplex	+
31			Scenedesmus sp.	20
32			CHLOROPHYCEAE	95
33	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	25
34		-	CILIOPHORA	5
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	200
36			鞭毛藻	250
37			鞭毛虫	50
総数			8155	46500
種類組成			藍藻	15
			クリプト藻	30
			渦鞭毛藻	5
			黄金色藻	25
			珪藻	7375
			ユーグレナ藻	5
			緑藻	195
			その他の植物性	450
			動物性	55
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.3.9	2021.3.9
採取時刻			14:26	14:06
全水深 (m)			1.90	1.40
採取水深 (m)			0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROCOCCALES	(5)
2			OSCILLATORIALES	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	70
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	25
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
6		珪藻	Amphora sp.	5
7			Asterionella formosa	+
8			Aulacoseira ambigua	10
9			Aulacoseira pusilla	+
10			Aulacoseira granulata	+
11			Melosira varians	+
12			Navicula sp.	5
13			Nitzschia acicularis	125
14			Nitzschia fruticosa	+
15			Nitzschia spp.	60
16			Skeletonema potamos	30
17			Ulnaria japonica	80
18			Ulnaria sp.	+
19			Thalassiosiraceae-5	200
20			Thalassiosiraceae-10	4000
21			BACILLARIOPHYCEAE	+
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5
23			Trachelomonas sp.	+
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	100
25			Chlorogonium spp.	5
26			Dictyosphaerium spp.	+
27			Micractinium sp.	+
28			Monoraphidium spp.	15
29			Pediastrum boryanum	+
30			Scenedesmus spp.	50
31			Tetraedron sp.	5
32			CHLOROPHYCEAE	295
33	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+
34		-	CILIOPHORA	15
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	100
36			鞭毛藻	250
37			鞭毛虫	150
総数			5480	26250
種類組成			藍藻	5
			クリプト藻	70
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	4515
			ユーグレナ藻	5
			緑藻	370
			その他の植物性	350
			動物性	165
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				